

お知らせ

ただ今、春の仲間を増やす月間です。組合員・家族の皆さんの中で、東京土建に未加入の、建設業で働くお知り合いの方がおりましたら、組合事務所まで情報をお寄せ下さい。

5月1日現在組合員数2,000名



発行所 東京土建一般労働組合 南部ブロック会議 品川区戸越5-18-2 (3783)0471 代表者 井澤典一 定価 1部 50円 (購読料は組合費に含まれています)

第69回品川支部定期大会開催

より良い働く環境づくりを目指し、一丸となつて



団結ガンバロウ!

4月18日(土)、品川区立総合区民会館「ぎゅりあん」にて、第69回定期大会を代議員103名・石原環境大臣をはじめ、来賓21名の参加で開催しました。 今大会では、分散会テーマを「10年後の品川支部を語ろう〜次世代と共に歩む組織づくり〜」とし、意見交換を行ないました。

祝電・メッセージ一覧

- 品川区 森澤恭子 品川区長
東京土建国民健康保険組合
東京土建技術研修センター
職業能力開発短期大学校
東京建築カレッジ
あかつき印刷株式会社
株式会社きかんし
こくみん共済コープ
東京推進本部 中南部支所
東京土建墨田支部 他二十一支部

新役員おめでとう

執行委員長 小林紀久夫



小林執行委員長

組合員、ご家族の皆さん、日頃より様々な組合活動への、ご理解・ご協力を賜り、新執行部を代表して、心から感謝申し上げます。 また、この1年でお亡くなりになられた方々へ、お悔やみ申し上げます。 東京土建品川支部第69回定期大会が、4月18日、大井町「ぎゅりあん」にて、組合員・来賓の皆様のご出席のもと開催されました。 2026年度は昭和100年、終戦80年という節目を過ぎた新たな年となりましたが、世界では紛争や対立が続く中、不安定化が物価高騰を招き、建設資材を含む生活・仕事環境は厳しさを増しております。 さらに地球規模の気象変動により、国内では風水害や地震が頻発し、品川区や八丈島町でも大きな被害が生じ、特に昨年八丈島を襲った台風22・23の被害に際しては、品川支部から八丈島分会へ緊急支援物資を届け、また、東京土建・支部からは義援金を頂戴しました。ここに改めて深く感謝申し上げます。 酷暑による水不足や農作物の不作、インフラ老朽化による事故など、社会全体に課題が生じています。 品川支部は創立以来、いのちと暮らしを守り、建設従事者の処遇改善と地位向上を目指し、各種保険制度、賃金・職域確保、安全学習、技能継承、共済、アスペクト問題、福利厚生など多くの活動を行ってまいりました。 今後も組合員・ご家族の皆様と共に、より良い働く環境づくりを目指し、役員・書記局一丸となって取り組む所存です。 最後に、組合活動へのご理解とご協力を、改めてお願い申し上げます。



挨拶をする石原環境大臣

2026年度

支部執行委員

Table listing the 2026 Executive Committee members, including the Chairman, Vice-Chairman, Secretary, and various branch representatives.

前 2026年2月、アメリカとイスラエルがイランに対して大規模な軍事攻撃を開始した。その目的は、イランの核開発の阻止という大義の下に行われたはずが、各国のエゴがむき出しになり、事態の長期化・複雑化を招き、まさに泥沼の様相を呈して出口の見えない状況になってしまった。日本のみならず全世界への影響は計り知れず、ホルムズ海峡の封鎖に伴って起こった原油やLNGの供給への不安や物流の混乱は、ガソリンや電力、医療品、建築資材、農業などに既に私たちの日常生活に影響が出てきている。ただでさえ物価高で苦しい生活を余儀なくされている中、追い打ちをかけるように更に値段が上がる、製品が無いなど自分たちの努力ではどうにもならない状況に置かれてしまった。遠い中東の地で起こった出来事だが、全世界の誰しもが無関心ではいられない。同時にこの戦争を受け、尊い生命が失われたことも忘れてはならない。とにかく、一日も早く事態が収束し、平和な日々が戻ることを願って止まない。

(豊越分会 河崎弘樹)





合言葉は「チャレ・ミ！」

3月25日(水)に、古くから全建総連が賃金統一行動日と位置付けている行動を、全部の仲間を取り組みました。今年も品川支部会館に集まりWEB会議と勉強会を行いました。今回の学習では、昨年12月12日に完全施行した「第三次担い手3法」を力に、全ての仲間が要求・請求に立ち上がる「賃上げチャレンジミッション」の提起があり、法改正の周知と、要求・請求・交渉の呼びかけを、全て

3月25日(水)午後1時30分から、「全建総連賃上げチャレンジミッション」の提起があり、法改正の周知と、要求・請求・交渉の呼びかけを、全て

3月25日(水)午後1時30分から、「全建総連賃上げチャレンジミッション」の提起があり、法改正の周知と、要求・請求・交渉の呼びかけを、全て

今年も特定健診受診率 全分会トップを目指して! 八丈島分会集団健康診断開催

【社会保障対策部報告】 4月15日(水)、八丈町・大賀郷公民館にて、集団健康診断を組合員・家族164名が受診で実施し、無事に終了しました。早いもので、現在の形で集団健診を実施するようになってから、足かけ10年となり、受診した組合員・家族からは「あつという間に終わるので、助かる」等の声が聞かれています。健康に対する意識の高さもあってか、八丈島分会の特定健診受診率は、常に60%を超え、品川支部全分会トップを維持しております。今後とも島の組合員・家族の健康を守り、特定健診受診率向上の先進分会として、取り組みを進めていきます。



常に受診率トップの八丈島分会

3・25 全都一斉賃金行動 賃上げチャレンジミッションを成功させよう!

合言葉は「チャレ・ミ！」

津田 光久

津田 光久

津田 光久

津田 光久

津田 光久

津田 光久

津田 光久

10年後の品川支部を語ろう ~次世代と共に歩む組織づくり~

※紙面の都合上、全ての意見を掲載することが出来ないことをご了承下さい。

第7分散会 座長・菅原 正樹 書記・村越 千秋

「各分会での後継者不足の実情」 ●土曜日まで仕事。現場が遠く帰りが遅い。●群会議や執行委員会に出られる人が少ない。●高齢者は若い人に声をかけることに躊躇してしまうが、若い人は声をかけてもらいたいと思っている人もいます。 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●若い人に出席してもらうため、イベントを日曜日にしてほしい。●後継者世代からイベントがあるからよい。初めは家族ぐるみのイベント参加からつながり、続けることが大事。●イベントの参加費を分会から補助する。 その他 ●いろいろなイベントがあってありがたい。●シニアも大事にしてくれている。●人とのつながりが大事。無理強い禁物。●何でもしてあげてはいけないと思う。例えば書類の配布など、届けるのではなく取りにきてもらうように。

第8分散会 座長・石塚 良美 書記・佐藤 健

「各分会での後継者不足の実情」 ●若人は出てこない。保険のためだけに加入している。各イベントに参加要請しているが、都合がつかないと言われる。強くいって辞められると困る。●若い人は金銭より「休み」が欲しい。●「活動に参加して下さい」が入り口では義務感が漂いがち。 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●BBQやナツコ、バスハイクなど老若男女がある程度集まるイベントで40~50代に積極的に役員へ勧誘する。●子供のスポーツや習い事のイベントには積極的に参加する若い親が多いので『東京土建品川支部杯』の野球やサッカー大会を企画する。

第9分散会 座長・石井 伸弥 書記・赤川 拓郎

「各分会での後継者不足の実情」 ●分会内で新しい人が入ってきても、連絡が届いておらず、分会内でも知らないことがある。●土建の組織体制が分かりづらく、参加しづらい。組織の勉強会にも出て後継者が少ない。●(組合は)拘束時間が長いというより、回数が多く、仕事との調整がむずかしい。 その他 ●土建だけがをした時、親身になって対応してもらったので、自分も協力したいと思えた。 ●外国人向けに資格を取得させようとした時、土建では日本語の教本しかないの、他の団体を頼るしかない。

第3分散会 座長・岡崎 新治 書記・津田 順子

「各分会での後継者不足の実情」 ●今の方法では新しい人を集めるのは難しい。●昼間の集まり、行動は若い現役の人には難しい。●例えば今日の定期大会(土曜日)は若い現役の人は仕事。他の行動や集まりも平日の昼だと参加するのは難しい。 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●若い人のリストをもらって重点的に回るのが良いのではないかな。今までのやり方ではやらない方がよい。●組合のメリットをアピールする。例えば自転車保険、自転車に乗っている時だけでなく何かを壊した、水漏れをおこしたなどの賠償責任もあるなど。●品川の仕事をしたい。3団体(土建・南建・ユニオン)に入っている人に仕事を回す(住宅センター協議会)。



第3分散会の様子

第5分散会 座長・津田 光久 書記・豎元 秀幸

「各分会での後継者不足の実情」 ●アンケートをしたが60件中29件の回答があった。回答結果として…【10年後だったら役員をやってもいい2名・15年後だったら役員をやってもいい1名】●役員後継者を増やすよう努力しているが難しい。住宅デー等に参加を呼びかけている。●建設業(職人)が少なくなっていく。若い人たちにどう伝えていくか。●拡大訪問で、「役員になるとなんでこんなことまでやらないといけないの?」とよく言われる。 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●若い人たちに分かりやすい言葉、表現をした方がよい。労働組合の行動等の表現が堅い感じがする。●若い職人にはやさしく、細かく、1~10まで教えることが大事。

第6分散会 座長・河崎 弘樹 書記・松井 広仲

「各分会での後継者不足の実情」 ●引落しのため、資料を群長が配っている。集まる場所を決めた方がよいのでは? ●名簿には若い人がいるが出てこない。●住宅デーでも若い人は出てこない。(前は若い人も出ていた) 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●住宅デーに新しくピザ窯を出店してくれるので、若い層にアピールしたい。●バスハイクよりBBQの方が良い。(人が集まる) ●今までの組合から脱却し、組合を変える必要がある。

第1分散会 座長・小林紀久夫 書記・小林秀之

「各分会での後継者不足の実情」 ●参加すると役員をやらされると思って、また一度役員をやると抜けられなくなると思われている。●若い人は現場が遠く参加できない。また共働きも多いし、家庭を大事にしている。●企業群が多くなって地元に住んでいない人が増えた。●企業群の社長の組合に対する考えによって、社員情報が若い人に伝わりにくい場合もある。 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●群会議を「シルバーセンター」でやっているが、若い人に抵抗のないファミレス等で行う。●拡大等行動が多いので、集約して減らしていく。 ●10年後はDXを利用してリモート会議にしていきたい。 その他 ●保険証(資格確認証)を渡す時が若い人に会うチャンスなので、必ず顔を見て渡してコミュニケーションをとっていく。 ●子育て世代向けの入学祝い金や、行動すると行動費が出ることを知らない人もいるので、そういう情報を必ず伝えていく。



第1分散会の様子

第2分散会 座長・藤原 延行 書記・中橋英二

「各分会での後継者不足の実情」 ●10年後の自分、大半の人が10年後は生きていないと答えた。50代・60代の人は、健康で仕事をしたいとのこと。●「若い組合員、役員もいます」という分会もあり、「まったく変わらない」という分会もありました。 「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●若い組合員は、土建の良いところを利用してない。●若い組合員は横のつながりがあるので、そこを利用してはどうか。●各分会、企業群の中から若い人を発掘していく。 「特に良いと思ったことを、3つピックアップしましょう」 ●各分会、若い方に積極的に話しかけよう。●土建の良いところを、伝えよう。●各分会、企業群の中から若い人を発掘していこう。

第4分散会 座長・佐藤 博信 書記・松本 利弘

「変えたいこと」「残したいこと」「新しくやりたいこと」のアイデア ●チラシでのお知らせを減らして、SNSで知らせる。●イベントで若い人を口説く●50代~60代をターゲットにするのもいいかもしれない。 ●分会で1人~2人をターゲットにする。

「また来たね」と言われるくらい 二葉分会・分会長 吉川 誠豪 新任員の抱負 このたび初めて分会長を務めることになりました。正直「自分で大丈夫かな」と少し困惑しております。ですが、せつかく任せたいだけからは、明るく・楽しく頑張っていきたいと思っております。これからは、時代に合せて、たまりがちな紙資料とは少しずづ距離を置き、ペーパーレス化を進めていくことを発信していきたいと考えています。 また、まずは自分自身ができるだけの会合や行事に顔を出し、皆さんに「また来たね」と言われるくらい参加したいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

- 新任の挨拶をする大橋さん (個人戦・A級優勝) 藤原 延行 (西品川分会) 木村 稔 (品川分会) (団体戦・敢闘賞) 藤原 延行 (西品川分会) 小林 秀之 (西品川分会) 木村 稔 (品川分会) [退任役員一覧] 大井分會 大橋さと子さん 二葉分会 飯村 秀治さん 旗中分会 豎元 秀幸さん

- 東京土建一般労働組合品川支部 (敬称略) 第六十九回支部定期大会表彰一覧 [年間拡大目標達成分会] (三分会) 豊分会・旗中分会・支部分会 [年間拡大実績達成分会] (三分会) 品川分会・豊分会・支部分会 [完納分会] (二分会) 五反田分会・旗中分会 [拡大功労者表彰] (十八名) ※年間三名以上拡大した方に対して 年間拡大数 二十三名 西澤友香理 (支部) 年間拡大数 十三名 伊藤 淳 (支部) 年間拡大数 八名 吉岡 勇太 (旗中) 年間拡大数 七名 福田 博之 (天井・政田 薫(支部) 小尾 章夫(支部) 年間拡大数 六名 池田 成法(品川)・伏見 芳直(品川) 千葉 洋子(豊) 年間拡大数 四名 並河 宏明(五反田・青木 哲也(南品川) 年間拡大数 三名 館野 一男(豊越・福田 貴久(中延) 石田 昇(支部)・酒本 一郎(支部) 清水 幹正(支部)・山崎 健志(支部) 高橋 隆志(八丈島) 分会功労者表彰(二十名) [本部「第四十四回」将棋大会] (個人戦・A級優勝) 藤原 延行 (西品川分会) 木村 稔 (品川分会) チーム「品川王将軍」 藤原 延行 (西品川分会) 小林 秀之 (西品川分会) 木村 稔 (品川分会)

アフタヌーンティーで優雅なひと時

さつきの会「春のお茶会」

目でも楽しむ
優雅なひと時

支部分会
秋和紫衣奈

このたびは東京土建品川支部「さつきの会」に参加させていただき、ありがとうございました。家族も同伴させていただけるとのこと、妹とともに参加できましたことも大変嬉しく、思い出深いひと時となりました。「さつきの会」は初め

また、飲み放題で様々なフレイバーの紅茶を楽しまることができ、普段あまり飲む機会のない種類も試すことができました。紅茶の知識を深めることもでき、楽しい体験となりました。



ベテランから若手まで39名が参加!

品川プリンスホテルのアフタヌーンティーは、華やかな見た目、上品なお味、がとも印象的でした。色とりどりの可愛らしいスイーツは、一つひとつ丁寧に作られていて、目でも楽しむことができ、優雅なひと時を過ごすことができました。



彩り鮮やかなスイーツ

小山分会
久保 貴世

日頃より、主人を通じて、品川支部の皆様には大変お世話になっております。今回は2度目の参加となり、主婦の会の皆様との再会に加え、私にとって、初めてのアフタヌーンティーでもありましたので、参加前から娘とともに、大変楽しみにしておりました。

また、同じテーブルの皆様とも自然と会話が弾み、様々なお話を伺うことができ、大変有意義なひと時を過ごすことができました。

いっぴく

「コンプライアンス」

品川分会

小野塚龍太郎

最近あちこちでよく聞く単語「コンプライアンス」。

この単語のおかげですっかり変わってしまった

「地上波のテレビ番組。私が子供の頃に楽しみにしていたテレビ番組と言

えは【8時だよ!全員集合!】や【欽ドン】。親に怒られるから、寝たふりをしてコンソッと見ていた【11PM】。少し大人にな

つてからは【オレたちひょうきん族】や【志村けんのパカ殿】等の、お笑い番組でした。

今はこれらの番組を地上波で放送できるのは【欽ドン】くらいで、あの番組は、ほぼ「コンプライアンス」違反で放送できないと聞きました。メガホンや、ハリセンで人の頭をバンバン叩く。コントのエキストラに上

半身裸の女性(※これもストリートに書けない)【11PM】なんて...

夕食後、時々地上波のチャンネルを色々変えても、大体が芸能人によるクイズ番組。バスや徒歩での食べ歩き等の、ちょっとした旅番組。すっかりテレビを見ながら家族で笑うなんてことが、日本の家庭からなくなりました。実際息子

の家庭は、一切地上波は見ないそうです。理由は一つ。「面白くない」。テレビは置いてありますが、孫達のテレビゲームや、YouTube用だそうです。

また【オレたちひょうきん族】の様な、腹を抱えて笑えるテレビ番組が見たいですね。



親睦の機会となりました。今後このような素晴らしい会がございましたら、ぜひ参加させていただきます。心より感謝申し上げます。

健康に過ごすための第23回 シニア品川総会開催

アルコールも入りながら

シニア品川副会長 阿部タミ子

第23回シニア品川総会を、中小企業センターにて3月29日午前10時から開催されました。

大西会長の挨拶から始まり、議長に山口事務局長を選出しました。総会では、健康教室として「健康に過ごすために日頃から出来ること」を、全日本労働福祉協会・保健師・高橋彩さんのお話があり、参加された皆さんが真剣に聞き入っていたのが印象的でした。皆さんからのアンケート結果が楽しみです。

やはり職人は 丈夫じゃなきゃ

後地分会 佐布 繁男

春うららかな、3月29日(日) 中小企業センターで、シニア品川総会が開かれました。

43人の出席(※役員は除く)で、ちょっと少ない人数だと思いましたが、知った顔ばかりで、和気あいあい進みました。途中「歩ける体を目指していこう」を合言葉に、保健師の高橋彩さんによる『ロコモ体操』をはさみ、事務局より、今日の参加者に90代のシニアが5人参加していると報告があり、最高齢の白庭さんが紹介され、やっぱり職人は丈夫じゃなきゃと思えました。

最後に懇親会を三本締めで締め、団結を示して散会となりました。



高橋保健師より講義を受ける

品川の公園 変わりゆく「林試の森公園」

小山分会

石塚 良美

今まで何度となく紹介してきた目黒区との区界にある「都立林試の森公園」ですが、公園の周りが変わって来た様子、紹介します。林試の森公園は、1900年、目黒試験苗圃としてスタート。平成元年に都立林試の森公園として再スタートしました。



工事が進む「林試の森公園」

その西側には財務省小台住宅が6棟、1970年代半ばから2015年まで国家公務員宿舎として利用されてきました。建物解体されず、何棟が残っていました。去年ぐらいいから工事が進み、今では6棟全てが解体されています。跡地は、地震災害時の防災機能の充実と強化、多様な生物の生息となる緑の拠点となるよう目標を定め計画していくと、東京都が発表しています。計画では3つのゾーンに分けて開発を

